

職業実践専門課程（職実）を有する専門学校のうち、認定要件の充足状況について更なる確認を要すると考えられる取組について、事例を交えた具体的な対応方策を示すとともに、取組が充実していると考えられる好事例の周知を行うことにより、全体を通じた取組の底上げを図る。

認定要件の
充足状況について
更なる確認を要する学科

対応方策の提供
による底上げ

職業実践専門課程
認定学科

好事例を参考にした
取組の充実

取組が充実していると
考えられる学科

（例）

- ・ 教育課程編成委員会が同日に2回開催されている。
→ 教育課程編成委員会を複数回開催する際は、それぞれ別日に開催することを原則とする。
- ・ 企業等委員の意見の活用状況が確認できない。
→ 委員会の議事録において、企業等委員の発言が分かるよう明確に記載する。

（出典：R2,H30三菱総研報告書）

（例）

- ・ 独自の教学マネジメント「ステップクリア授業」
（東京テクニカルカレッジ）
- ・ シラバスの作り込みによる学生の主体的授業参加
（日本電子専門学校）
- ・ 卒業生等の意見に基づく授業内容の改善
（上尾中央医療専門学校）

（出典：6/29質保証会議, R2三菱総研報告書）

職業実践専門課程全体の底上げへ
（併せて、職実フォローアップの在り方を整理）

（イメージ）

- ・ FUに当たって、重点的に確認すべき要件の精選
- ・ 情報公表用に別紙様式4の別様を作成

(A) 職業実践専門課程

全学科の4割超が認定済

→ **認定要件に係る取組の更なる充実**

(B) その他の方策

(職業教育マネジメントによる)

- ・ PDCAサイクルの導入
- ・ 修学支援新制度による取組の促進
- ・ 企業等による卒業者の評価
- ・ 中期事業計画策定
- ・ 教育資源に対する投資 等

現在の職業教育
マネジメントの範囲

職業実践専門課程の更なる充実、各学校におけるPDCAサイクルの導入促進などにより、専修学校の更なる質保証・向上を目指す。